



2022年5月11日

各 位

会 社 名 京浜急行電鉄株式会社
 代表者名 取締役社長 川俣 幸宏
 (コード番号 9006 東証プライム市場)
 問合せ先 広報・マーケティング室 (広報担当)
 (TEL: 045-225-9350)

業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2021年11月11日に公表した2022年3月期通期業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績値との差異について

(1) 2022年3月期連結業績予想と実績値との差異 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	262,000	0	△500	8,000	29.06
実績値 (B)	265,237	3,510	5,065	12,529	45.52
増減額 (B-A)	3,237	3,510	5,565	4,529	
増減率 (%)	1.2	—	—	56.6	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	234,964	△18,420	△20,156	△27,211	△98.83

(2) 2022年3月期個別業績予想と実績値との差異 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	120,300	△600	△2,100	12,000	43.59
実績値 (B)	123,382	446	211	13,988	50.81
増減額 (B-A)	3,082	1,046	2,311	1,988	
増減率 (%)	2.6	—	—	16.6	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	87,680	△13,808	△16,713	△20,160	△73.22

2. 差異の理由

2022年3月期通期の連結業績は、第4四半期においてまん延防止等重点措置の影響により、交通事業において予想を下回る結果となりました。

一方、不動産事業において、賃貸マンション等を含む販売用不動産の入れ替え速度を速めたことや、分譲マンションの販売戸数増加などによる増収に加え、ローコストオペレーションの進捗に伴う費用の削減などを進めたことにより、営業利益は前回公表値を上回りました。

また、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券売却益の計上などにより、それぞれ前回公表値を上回りました。

なお、通期個別業績についても、同様の理由により、前回公表値を上回りました。

以 上